



Pick UP !

テーマ | 夜更けはミステリーと共に

『その血は瞳に映らない』天祢涼 / 著 (光文社)

ISBN:978-4-334-10743-7

横浜のアパートに住む親子が襲われ、母は死亡、娘の優璃が負傷した事件。逮捕された容疑者の「死刑になりたかった」との供述に疑問を持った記者が、優璃と真相を追うことに。SNSに飛び交う憶測や、食い違う証言に二人は翻弄される。果たして真実はどこにあるのか。ネットの情報に踊らされる人々に警鐘を鳴らす社会派ミステリー。



『楽園の瑕』相場英雄 / 著 (小学館)

ISBN:978-4-09-386756-6



刑事部長の榎山順子は、過疎に悩む小さい町に降って湧いた大規模農場開発に、怪しいものを感じ取る。山岳の楽園を守るべく動くことに。『震える牛』『ガラパゴス』に連なる榎山順子シリーズであるものの、入り口としても楽しめる。



『冷蔵庫探偵蔵前怜子』遠藤彩見 / 著 (講談社)

ISBN:978-4-06-540409-6



新人刑事の涼は失敗ばかりで上司に叱られっぱなし。ひょんなことからケータリング業者の怜子とコンビになり、冷蔵庫の中を手掛かりに推理を展開していく。自分の冷蔵庫は怜子にどんな印象を与えるだろうと気になってしまう作品。



QRコードを読み込むと、品川図書館のホームページから本の詳細を確認することができます。

→裏面もチェック！



『ひきこもり家族』染井為人 / 著(光文社)

ISBN:978-4-334-10740-6

身内が引きこもりになってしまった家庭が頼ったのは、「リヴァイブ自立支援センター」。しかしそこは囚人のような生活を強いられる施設だった。追い詰められた入居者の5人は施設長を殺してしまい……。

先の気になる展開で、すっきりと読み終わられる作品。



『殺し屋の営業術』野宮有 / 著(講談社)

ISBN:978-4-06-540330-3



「営業ノルマ」のため、手段を選ばない鳥井。あることをきっかけに、殺し屋と契約し殺人請負会社に入社することに。2週間で2億円を稼ぐ、命がけの「営業」が始まる。勢いあるジェットコースター・ミステリー！



注目の新刊

9/1～9/30の間に新しく受け入れた本の中からおすすめを紹介！

タイトル	著者 出版社	ISBN
おまえレベルの話はしてない	芦沢央 河出書房新社	978-4-309-03225-2
読むと死ぬ本	彩藤アザミ 講談社	978-4-06-540484-3
英雄	真保裕一 朝日新聞出版	978-4-02-265207-2
羊殺しの巫女たち	杉井光 KADOKAWA	978-4-04-115127-3
虚池空白の自由律な事件簿	森晶麿 集英社	978-4-08-770018-3